

第2回 鶴ヶ島市新型コロナウイルス感染症対策医療有識者会議 会議要旨

開催日時 令和2年5月20日（水）13:30～14:15

開催場所 経営会議室

出席者 医療有識者

坂戸鶴ヶ島医師会、坂戸鶴ヶ島歯科医師会、坂戸鶴ヶ島市薬剤師会、
坂戸保健所

説明員 健康福祉部参事、保険年金課長、学校教育課長、地域活動推進課長、
保健センター所長、保健センター職員

事務局 保健センター

1 協議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する情報の共有について

第1回医療有識者会議開催後、新規または変更となった情報共有事項について説明

- ・市内感染事例数、庁内及び市民への対応について説明（保健センター）

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に関する医療体制等について

【医師会】

- ・5/20 現在、県内では患者数が減少し、ベッド数に余裕が出てきた。県から医療機関へマスク、アルコールが配布されたが、手袋が不足気味。
- ・県医師会と県医療整備課からPCR検査を増やすため郡市医師会に要望があり、坂戸鶴ヶ島医師会でもPCRセンターを開設する。
- ・PCRセンターはドライブスルー方式（車での来場のみ）で、期間は5/28～10/31、平日13時～15時、医師2名体制、完全予約制、紹介状必要、1日20件～最大30件までの検査が可能、場所は非公開。

【歯科医師会】

口腔内の診察のため、もともと感染症への対策は取っている。検温後に診療している。

【薬剤師会】

- ・県から各薬局にマスク、消毒液が配布された。
- ・ドクターのオンライン診療が始まり、特例的(臨時的)に処方箋を医療機関から薬局へ送付し、薬局から患者へ薬を配送する方法を行っている。代金のやり取りは各薬局で異なる（振込や代金引換）ため、現在調査中。コロナ収束までの一時的な手段である。

【保健所】

- ・昨日現在、坂戸保健所管内の感染者は18人。
- ・保健所の電話相談は、ピーク時1日当たり130件程度だったが、先週は50件程度、昨日は40件程度と落ち着いてきている。今後に備え、課題を洗い出し中である。
- ・ホテル療養はあまり利用がなかった。陰性確認後は退室。縮小する方向で検討している。
- ・在宅時間の増加に伴い、近隣やペット（犬、猫）の苦情が増えている。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴うご意見を頂きたい事項

【学校教育課】

6/1 から再開予定。2 部制に分け 5/28、29 の 2 時間準備登校。6 月から 2 部制、第 1 週目は顔合わせ等慣らしの授業 3 時間、8 日～第 2 週目は給食開始し 4 時間授業、15 日～第 3 週目から 5 時間授業開始、部活も様子を見ながら開始。段階的に増やし、その後通常としたい。感染防止対策は、家庭での検温、マスクの着用、窓を開けての換気、給食当番時手指消毒やフェイスシールド着用、密を防ぐ人数を減らす対策（小学校は区域別、中学校は奇数、偶数別等を想定）をとる。

有識者：学校の健診はどうなるのか？→学校医との調整により 6 月実施の予定。

有識者：入学した子の 4・5 月のキャンセルについて、今後はやらなくてはならない最低限の健診を教育委員会で決定し、養護教諭を通じて、学校医に伝えてほしい。

有識者：プールは行うのか？→今年度、水泳指導は実施しない。

【地域活動推進課】

市民センター等の貸館業務について、新しい生活様式の実践を踏まえ、感染防止対策を行い、貸出の内容により再開したい。利用当日は参加者名簿やチェックリスト作成等、参加者が追えるようにする他、体温の自己申告を考えている。再開にあたっての方向性について注意点等あれば伺いたい。

有識者：平熱は個人差があるため、37.5℃は一つの目安。体調変化の把握が大切である。

【保険年金課】

先月ご質問があった国民健康保険傷病手当金支給申請書の記入について、新型コロナの確定診断ができない場合の傷病名の記入については、「新型コロナウイルス感染症の疑い」や「感冒」等の記入で構わないとのことであった。

有識者：了解

【保健センター】

乳幼児健診は 6 月再開、振替日程について調整を進めている。成人検診は坂戸市と調整し 8 月から 1 月末を予定。医療機関での個別検診受け入れについて、現在意向調査中。

有識者：中止となった乳幼児健診 4、5 月分の振替は、会場を分散し人数を少なくする、日にちを分けるなど、医師等へ過度な負担とならないように配慮してほしい。

2 その他

有識者：学校の休校期間が長かったので、水質保持のためタンク内の水を長時間流し、タンク内の塩素濃度を安定させるとよい。

以上